

耳の聞こえ 気になっていませんか？



松戸市聞こえの支援事業



すまいる おとちゃん

難聴は認知症やうつ病の発症に深く関係しており、
高い生活の質を保つためには「聞こえ」が重要であると注目されています。
まずは、自分の「聞こえ」の状態をチェックしてみましょう。



Check !

- ☐ 会話をしているとき、聞き返すことがよくある
- ☐ 相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがある
- ☐ 電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがある
- ☐ 家族に「テレビやラジオの音量が大きい」と言われる
- ☐ 大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じる



チェックの結果、**1つでも当てはまった方**、**ご自身の「聞こえ」が気になる方**は、耳鼻咽喉科や補聴器相談医による診察・診断を受けることをおすすめします。

「聞こえづらさ」が進むと...

家族や友人とのコミュニケーションがうまくいけなくなったり、耳から入る音の刺激がへることで脳への刺激が減り、

うつ病のリスクや認知症のリスクが高まる

とされています。

松戸市では、高齢者が豊かな生活を送るための
「聞こえ」の取り組みを行っています。



松戸市聞こえの支援事業

松戸市では、高齢者の聞こえに関して、難聴の早期発見、早期受診等を進め、補聴器の購入費用の一部助成を含めた一体的な対策により、介護予防や社会参加の促進を図る、「聞こえの支援事業」を実施しています。

1

普及啓発

- ・ 高齢者いきいき安心センターが開催する教室（認知症予防教室等）での聞こえの講話
- ・ 各種イベント、講演会、公式LINE等での周知

2

早期発見

- ・ チェックシートを用いた聴力のチェック
- ・ 該当者の耳鼻科受診勧奨
- ・ 言語聴覚士による相談

3

早期受診

- ・ 耳鼻咽喉科医を受診
 - ・ 補聴器購入
（非課税世帯に対する購入費の一部助成）
- 詳しくは右記二次元コードからホームページをご覧ください



4

フォローアップ

- ・ 受診勧奨者へのフォロー（認知症予防教室等 1～2か月後）
- ・ 聞こえに合わせた補聴器の調整および定期受診勧奨

5

データ分析

- ・ 対象者の聞こえや活動意欲・行動の変化の調査分析（講話当日の事前アンケートやフォローアップアンケートによる）



すまいる おとちゃん